

令和7年度



幼稚園だより 7月号

文京区立小日向台町幼稚園

つながる思い～経験を踏まえて～

園長 小岩井 聡

先日、年長組が育てていたジャガイモの収穫が行われました。幼稚園の裏にある畑に、主事さんの指導を受けて植えたジャガイモの収穫です。今回は、子どもたちは、主事さんに掘り方を教えてもらいながら、畑の中に残ったイモもひとつ残らず掘り起こすように、一生懸命収穫していました。子どもたちが掘り起こしたジャガイモは大小合わせて274個でした。(かわいらしい子芋も含めてです)大収穫でした。

自分たちで育てて収穫したことの喜びを感じつつ、そのジャガイモをどうするか。学年で話し合いをしました。すると、自然と子どもたちから、昨年度のことを思い出され、カレーを作ってみんなでパーティーをしようという意見が出たそうです。昨年度、自分たちが年長さんにしてもらったことを思い出し、次は自分たちがカレーを作って、年中組、年少組にご馳走してあげたいという思いが沸き上がったのでしょうか。

そして、招待状を作り、カレーパーティーを行うことを年中組、年少組に知らせました。幼稚園で、それも年長組がカレーを作って振舞ってくれるということで、年少組、年中組もわくわくしていました。

それから、年長組は、じゃがいもだけではカレーはできないと、必要な物をみんな考え、それを買に行きたいと、私に直接交渉まで行っていました。そして、全員で買い物に行き、カレー作りに必要なジャガイモ以外の野菜やカレールーなどを買ってきました。(とはいえ、子どもたちに一人一人お金をもたせるわけにもいきませんから、お店の方と打ち合わせをして、子どもたちは引き換えカードを持っていきました)購入する品物ごとにグループになり、お店に行き「〇〇ください!」と伝えて買い物をしていました。日々ジャガイモを洗ったりして着々と準備を重ね、当日を迎えました。調理の前には、みんなで念入りに手を洗い、いざカレー作り。

登園後から、タマネギの皮むき、そして、グループに分かれて調理の開始です。先生の話聞いて、実際に自分たちで包丁をもち、ジャガイモ・タマネギ・ニンジンを切ります。その姿は真剣そのもの。(年中組は、窓越しにその様子を見学にきました。羨望のまなざしで見えていました。)そして、切った後は、みんなが主事室まで運び、調理のお願いをしました。途中、煮込んで、カレールーを入れる時は、そのタイミングで、みんなで見学をして、出来上がりを楽しみにしつつ、山邊先生や井上先生、岩野先生、主事の荒木さんに「お願いします」とカレーの仕上げを話し、カレーパーティーの準備をしていました。直前には年中さんを呼びに行き、ホールにご招待。(たんぼぼ組は、保育室にカレーを届けました)年中組、年長組みんなそろってのカレーパーティーを行いました。

みんな舌鼓を打ったカレーパーティーの経験は、年長組にとっては自信に、年中組にとっては憧れになったと思います。きっとそれがまた来年度へつながる経験として生きてくることなのでしょう。脈々とつながる、子どもたちの経験や思い。大切にしたいですね。

